必ずチェック！ 参考情報（付記用語）

新しい「取扱い表示」は世界で共通に使用できるように、記号内には日本語などの文字はありません。記号以外の参考情報については簡単な言葉で記号のそばに付記される場合があります（付記用語）ので、必ずチェックしましょう。

例

「洗濯ネット使用」 洗濯用ネットに入れてから洗濯します。

「弱く絞る」 洗濯機で短時間の脱水を行うか、タオルなどに挟んで水分を取ります。

「あて布使用」 薄手の布で覆った上からアイロンを掛けます。

「裏返しにして洗う」、「同系色と一緒に洗う」など

Q&A

Q1. 「手洗い記号 」の衣類は洗濯機の「手洗いコース」などで洗えますか？

⇒洗濯機の取扱説明書やメーカーのウェブサイトなどの情報を参考に「手洗いコース」などが、手で押し洗いするなどの「手洗い記号」に対応しているかどうかを確認しましょう。

Q2. 「 」の衣類を、家で洗えますか？

⇒家で洗うことはできません。

Q3. 「タンブル乾燥」とは何ですか？

⇒乾燥機の中で、洗濯物を回転させながら温風で乾燥する方法です。

●「取扱い表示」やタグなどは、洗濯や手入れの情報源です。しっかり読みましょう。

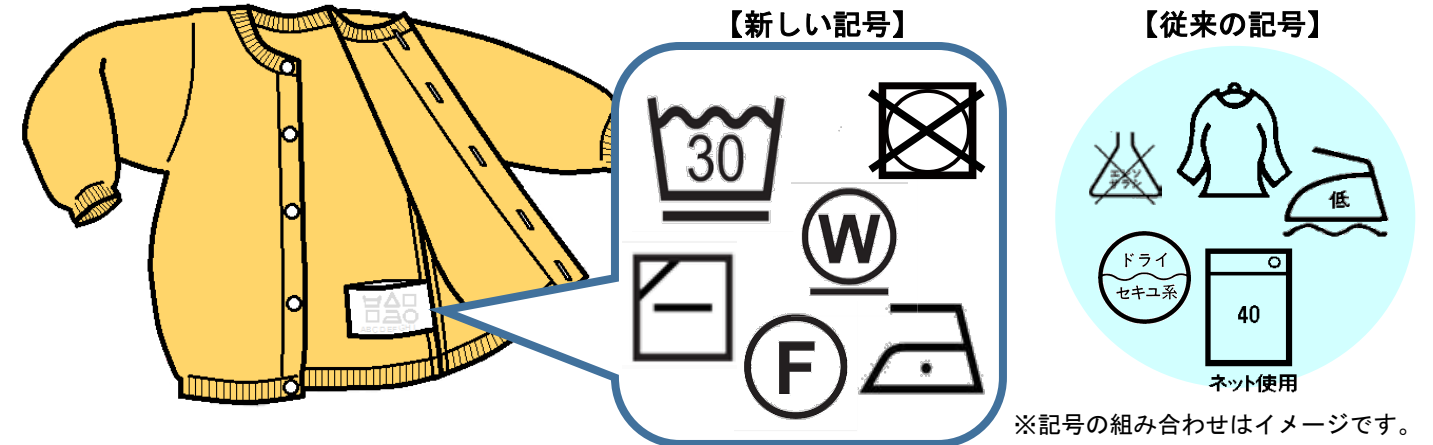
●衣類の購入時にも「取扱い表示」を確認して、洗濯の参考にしましょう。

●「取扱い表示」を正しく理解して洗濯の仕方を見直しましょう。

（本リーフレットに関する問合せ先）
・ＪＩＳ規格に関しては、経済産業省　国際標準課　電話：０３－３５０１－９２７７
・家庭用品品質表示法に関しては、消費者庁　表示対策課　電話：０３－３５０７－９２０５

平成28年12月1日からの 新しい！衣類の「取扱い表示」

（繊維製品の取扱いに関する表示記号及びその表示方法　JIS　L　0001）

※記号の組み合わせはイメージです。

● 記号のデザインが新しくなります。

基本の記号に、線「―」や点「・」などの付加記号や数字を組み合わせて表します。

＊世界で共通に使用されている ISO（国際規格）の記号と同じになりました。記号内に日本語は記載されません。

● 記号の種類が増えます。

これまでの「JIS（日本工業規格）取扱い絵表示」にはなかった記号が追加されて、より細かな表示に変わります。

＊酸素系漂白剤やタンブル乾燥、クリーニング業者によるウエットクリーニングなどの記号が追加されます。

● 表示は取扱い方の上限を表しています。

表示よりも強い作用や高い温度での洗濯やアイロン掛けは、衣類にダメージを与える可能性があります。

● 参考情報が簡単な用語で付記される場合があります。

記号だけでは伝えられない参考情報は、簡単な言葉で記号の近くに記載される場合があります。

経済産業省　消費者庁　第１版（２０１５年１０月発行）

知ろう！

新しい「取扱い表示」の記号と意味

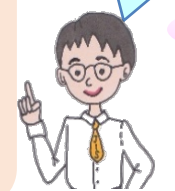
家庭での洗い方

家庭での洗い方（洗濯機洗い、手洗い）です。

「40」などの数字は洗濯温度の上限です。
＊左の場合は「40℃以下」で洗います。
「ー」は「線なし」よりも弱く、「＝」は更に弱い洗濯機での洗い方です。

押し洗いなどの、「手洗い」で洗います。一番優しい洗い方です。上限温度は 40℃です。

家庭での洗濯はできません。

「ー」は、増えると作用が弱くなるので、マイナスバーと覚えると良いですね。

例えば、このように表示されます。

＊家庭洗濯→漂白→乾燥→アイロン→クリーニングの順で記載されます。

漂白

漂白ができます。

△ 塩素系漂白剤も酸素系漂白剤も使えます。

酸素系漂白剤のみが使えます。
＊酸素系漂白剤は、ほとんどの色柄物に使える漂白剤です。

漂白剤は使えません。

△は縞柄にも使える漂白剤！と覚えると良いですね。

乾燥

タンブル乾燥

家庭用のタンブル乾燥機が使えます。記号内の「点（・）」は乾燥温度を表します。
「••」はヒーターを「強」などに設定します。
「•」はヒーターを「弱」などに設定します。

タンブル乾燥はできません。

自然乾燥

「つり干し」をします。
＊ハンガーにかけるか、小物干しなどに吊るして干します。

「平干し」をします。
＊平らな場所に広げて干します。

＊四角の中の「1 本線」は脱水して、「2 本線」は脱水せず（絞らず）に干します。

「斜線」はひさしや屋根を表しているので陰干しをします。

つり干しは衣類をタテ！平干しはヨコ！と、線の向きでイメージしてみては。

アイロン仕上げ

アイロンを掛けることができます。

記号内の「点（・）」の数はアイロンの底面温度の上限を表します。
「•••」200℃まで
「••」150℃まで
「•」110℃まで

「・」は、増えると温度が高くなるので、“点灯”と覚えると良いですね。

アイロンは掛けられません。

クリーニング店での洗い方

ドライクリーニングができます。

Ⓟ パークロロエチレンなどの溶剤を使用します。

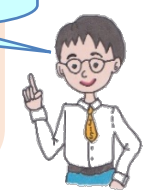
Ⓕ 石油系溶剤を使用します。

ウエットクリーニングができます。
＊クリーニング店が特殊な技術で行うプロの水洗いと仕上げによる洗濯です。

それぞれの記号には「ー」や「＝」が付いた記号があります。

Ⓦがあれば、洗濯不可の記号でも、クリーニング店で水洗いができます。ただし、家庭では洗えませんよ。

ドライクリーニングはできません。

ウエットクリーニングはできません。

記号の構成

基本記号に、付加記号や数字を組み合わせて表します。

5つの基本の記号

付加記号と数字

強さ（基本記号の下に付加）

線なし	通常の強さ
ー	弱い
＝	非常に弱い

「線（ー）」が増えるほど弱くなります。

温度（基本記号の中に付加）

＜記号によるもの＞

「●」「●●」「●●●」

低 → 高

タンブル乾燥やアイロンの温度は「点（•）」で表します。数が増えるほど温度は高くなります。

＜数字によるもの＞

【例】

禁　止

基本記号と組み合わせて、禁止を表します。